

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書

2015年9月2日

「七ヶ浜 第一スポーツ仮設住宅集会所」

Happy Doll Project

季節外れの長雨はこの前日まで続いていました。2週間ぶりに気持ちよく晴れた朝、仮設を訪れると、引越し車両がすでに2台。ハイスピードで荷出しが行われていました。ベンチに座って眺めていたおとうさんに尋ねると、「今日も引越しがあるんだ。ずいぶん寂しくなったよ」と。

会場となる集会所には、時間になっても誰も訪れる気配がありません。スタッフが住宅を巡り声がけにおじゃますると、「ごめんね。しばらくぶりに晴れたからね～、出かけるの」「行こうかなって思っていたけれど、晴れたから今日のうちにしておきたいことがいっぱいあってね、ありがとうね」と。

引っ越して行ったり、自分の生活を取り戻し忙しくしているみなさんの姿を見るのは、喜ばしいこと。仮設に空き部屋が目立ち、集会所を訪れる方が少なくなっていくのも、ちょっぴり寂しい気持ちもありますが、これも4年半という時の流れ。当然のことです。

そこで急きよこの日は、社会福祉協議会のスタッフさん、地域ボランティアさん、外国人ボランティアさんとで、七ヶ浜の現状や未来について話をすることに。

自分たちの震災からの日々を振り返りながら、これまでの課題、今の課題、そして、話題はこれからの課題へと…。子どもや若者の5年、40・50代の5年、そして、高齢者の5年は、変化のスピード、生き方の選択、支援のかたちがまるで異なること。その一人ひとりの心に寄り添っていく必要があることなど、居合わせたメンバーがそれぞれの立場を越境して、この町の未来を考える有意義なひとときとなりました。もちろん、全員がチクチクと手を動かし続けていたわけですが…、パーツを分担して、全員で完成させたのは、「はらぺこあおむし」。みんなの思いが詰まった、Happy Dollがまたひとつ、ここに完成しました。

